



Doshisha University Academic Repository

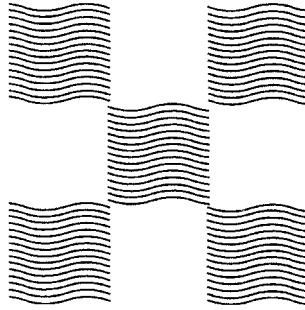
同志社大学学術リポジトリ

表紙、目次、編集規定、編集後記、編集委員、奥付

著者	同志社社会学研究学会
雑誌名	同志社社会学研究
号	13
ページ	n
発行年	2009-03-31
権利	同志社社会学研究学会
URL	http://id.nii.ac.jp/1707/00020895/

同志社社会学研究

「第13号」



2009年3月

●研究論文

酒造技術者の職業人性と地域技術者ネットワーク
——京都伏見酒造業を事例として——

藤本 昌代
河口 充勇

2005年SSM調査における階層帰属意識項目の
時点比較上の問題点と基礎的趨勢

小林 大祐

転職についての基礎的計量分析
——LHC調査データをもとに——

小林 久高

●セミナー

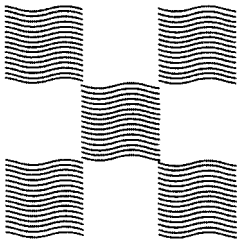
SPSSによる社会調査データ分析入門
——シンタックスの解説を中心に——

小林 久高
雨森 聡
山本 圭三

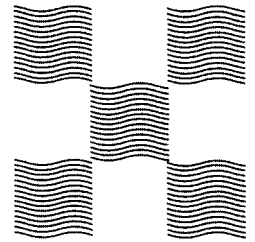
●自編著の紹介

鯉坂学・小松秀雄編『京都の「まち」の社会学』
世界思想社（2008）

鯉坂 学



ISSN 1342-9833



Doshisha Review of Sociology

No. 13 March 2009

CONTENTS

●ARTICLES

Brewing Engineers : Their Regional Network and Cosmopolitan Intention :

A Case of Fushimi Brewers

FUJIMOTO Masayo

KAWAGUCHI Mitsuo

A Basic Tendency of Class Identification in 2005 SSM :

Focusing on the Bias in the Distribution and the Percentage of DK/NA

KOBAYASHI Daisuke

A Basic Analysis of Change of Occupation

KOBAYASHI Hisataka

●SEMINAR

Introduction for the Analysis of Social Research Data :

About Tutorials of Syntax on SPSS

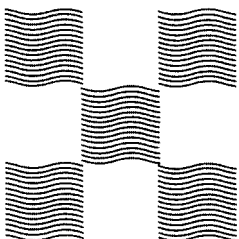
KOBAYASHI Hisataka

AMENOMORI Satoshi

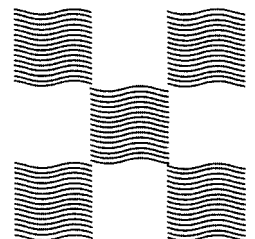
YAMAMOTO Keizo

●NEW BOOKS

AJISAKA Manabu



Doshisha Sociological Association



同志社社会学研究

NO. 13, 2009

<目次>

●研究論文

- 酒造技術者の職業人性と地域技術者ネットワーク
——京都伏見酒造業を事例として——
藤本 昌代 1
河口 充勇
- 2005年SSM調査における階層帰属意識項目の
時点比較上の問題点と基礎的趨勢
小林 大祐 19
- 転職についての基礎的計量分析
——LHC調査データをもとに——
小林 久高 33

●セミナー

- SPSSによる社会調査データ分析入門
——シンタックスの解説を中心に——
小林 久高 45
雨森 聡
山本 圭三

●自編著の紹介

- 鯉坂学・小松秀雄編『京都の「まち」の社会学』
世界思想社(2008)
鯉坂 学 77

研究室だより 81

2008年度院生業績一覧 82

修士論文題目 84

執筆者紹介 85

『同志社社会学研究』編集規定

編集後記

『同志社社会学研究』編集規定

【1】本研究誌は同志社社会学研究学会の機関紙として社会学の研鑽に寄与し、また会員相互の研究交流に資することを目的とする。

【2】掲載内容は以下のものとする（枚数：400字）

研究論文（40～60枚）

研究ノート（20～30枚）

書評

その他

【3】編集委員は本学社会学科教員、同院生、同修了・卒業生の代表により構成される。専門委員は本学社会学科教員より構成される。

【4】投稿者は本学社会学科教員、同院生、同修了・卒業生とする。

【5】原稿は書籍、学術雑誌に未発表のものに限る。掲載の可否は、専門委員の審査の結果を受け、最終的に編集委員が行う。

【6】原稿の締め切りは12月末、発行は3月とする。投稿者は10月末までに専門委員1名に草稿を送付するとともに投稿の意思を伝え、12月末までに当該専門委員に最終原稿を送付しなくてはならない。

【7】執筆要領

横書き、口語常体、完成原稿で提出。註や参照文献の書式は日本社会学会機関誌『社会学評論』に準じ、論文の最後に別々にまとめる。詳しい執筆要領は別に定める。

【8】提出原稿の形式

原稿には日本語と英文タイトルをつけ、ハードコピー（40字×40行）と電子媒体で提出すること。

【付記】

その他の事項については、社会学の研究誌としての性格に鑑み、編集委員会が対応する。

◆ 編集後記 ◆

『同志社社会学研究』第13号をお届けします。

本号には、藤本昌代先生と河口充勇先生による京都伏見地域での調査研究をもとにした論文、小林大祐先生による2005年SSM調査データなどを用いた論文、ならびに小林久高の論文の計3論文が掲載されております。河口充勇先生は同志社大学技術・企業・国際競争力開発センターに所属されており、小林大祐先生は仁愛大学人間学部でご活躍中です。

また、「セミナー」には小林久高・雨森聡・山本圭三の計量系調査データの分析法が掲載されており、鯉坂学先生には、2008年度に上梓された編著の御紹介を執筆していただきました。本号はこれらの研究論文、セミナー、自編著紹介の計5編で構成されております。

なお、2008年7月におこなわれました同志社社会学研究学会において、本誌の編集規定が一部改正になりました。本号に新しい編集規定を記載しておりますので、ご覧いただきたく存じます。
(小林)

◆ 編集委員 ◆

【編集委員長】 鯉坂 学

【編集委員】 小林 久高

片岡 佳美（島根大学法文学部）

山本 圭三（博士後期課程）

ニコール コマファイ（博士後期課程）

田崎 俊之（博士前期課程）

同志社社会学研究 第13号

2009年3月31日発行

発行人 同志社社会学研究学会

〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入

TEL. 075-251-3441

FAX. 075-251-3066

印刷 協和印刷株式会社